



岩倉 壽 《白い新緑》平成21年(2009) 個人蔵
前期展示



岩倉 壽 《燕と茄子》平成27年(2015)
個人蔵 前期展示



岩倉 壽 《西の窓》平成21年(2009)
京都国立近代美術館 後期展示



鳥頭尾 精 《夏蒼天》令和5年(2023) 個人蔵
後期展示



鳥頭尾 精 《珍鳥》昭和34年(1959)
京都国立近代美術館 前期展示



鳥頭尾 精 《青い白い鳥》昭和45年(1970)
個人蔵 前期展示



鳥頭尾 精 《あすか・夏》令和4年(2022)
奈良県立万葉文化館 後期展示

鳥頭尾 精 と 岩倉 壽

鳥と自然と

2026
7.17 fri — 9.13 sun

前期 7/17～8/9 後期 8/21～9/13

※前後期で作品が入れ替わります。

「企画展」
岩倉 壽 生誕90年記念

Utsuro Sei

一編の詩を読むような美しさ

近年新たに収蔵品に加わった
岩倉 壽と鳥頭尾 精。

ひたむきに対象と向き合い、
己の信念に従って生み出された画境は
他に類のない世界観を宿しています。

2018年岩倉は惜しくも世を去りますが、
色と形が軽やかなリズムを刻む風景画は
今なおファンを増やし続けています。

一方、94歳という年齢を感じさせず
精力的に筆を揮う鳥頭尾は、
故郷明日香をテーマに毎年新作に挑みます。

日展、創画会と活躍の場は異なる彼らですが、
自然の神髄に迫ろうと努めた姿勢は
通じるものがあり、
叙情的な表現に二人の理想が垣間見えます。

本展では、京都国立近代美術館や
奈良県立万葉文化館、貴重な個人蔵も含め、
二人の代表作を集めました。

一編の詩を読むような
美しさにあふれた作品を通して、
美の本質とは何かを考えます。



◎イベント情報

当館学芸員によるギャラリートーク 各日14:00～

前期＝7月19日(日)、29日(水)、8月8日(土) 後期＝8月22日(土)、30日(日)、9月10日(木)

※参加ご希望の方は当日鑑賞券が必要です。※スケジュールは都合により、日程、内容を変更する場合があります。

次回展

特別展 伊豆市近代日本画コレクション

修善寺を愛した画家－横山大観・小林古径・安田靉彦・前田青邨・川端龍子など－

2026年10月9日(金)～12月6日(日)

※本展は名都美術館のみで開催し、巡回は致しません。

一般財団法人 林美術財団
名都美術館
MEITO ART MUSEUM

〒480-1116
愛知県長久手市杖ヶ池301番地
TEL 0561-62-8884
<https://meito-museum.or.jp/>



公共交通機関ご利用の場合 ●東部丘陵線(リニモ)「杖ヶ池公園」駅下車、2番出口から歩道を右方向へ進み、東狭間交差点を右折(徒歩5分)。 ●お車をご利用の場合 ●名古屋方面より名古屋インターを越えてから8本目の信号東狭間交差点を右折。 ●駐車場は東狭間交差点から南へ、当館の前を通り過ぎた1本目を右折。次の角を右折。約100m直進した当館西側の専用駐車場(43台)。

鳥頭尾 精 《南都》(部分) 平成27年(2015) 名都美術館 後期展示